

## 【ワークシート4-1】「生徒理解アセスメントシートB」解説

記入すること 各項目の例です。参考にして、事例について考えてみましょう

生徒氏名 ( )		学習面・言語や運動面 (知能・学力、学習状況、 学習スタイル、上下肢の運動など)	心理・社会面 (対人関係) (情緒面・人間関係・ ストレス対処スタイルなど)	健康・生活面 (身辺自立、得意なことや趣味、 将来の夢など)
情報のまとめ	(A) いいところ	得意(好き)な教科(9教科・ピアノ、絵、発表、コンピューター、運動など)、やりやすい学習方法(耳で聞く、目で見て、言葉で、物を操作して、図や絵で全体を理解)、学習意欲(数学の宿題に熱心に取り組む、小グループで積極的に発言する)	性格のいいところ(友だちにやさしい、手伝いを進んでする、よく気がつく、困っている友だちに声をかける)楽しめることやリラックスすること(音楽をきく、漫画を読む、1人でぼーっとする、TVゲームなど)人とのつきあい方(いろいろな人と話す、リーダーシップをとる、面倒見がいい、後輩に親切など)	得意なことや趣味(プラモデル、パソコン、スポーツが好き、釣りが好き、お菓子作り、スポーツ)将来の夢や憧れの人(声優、漫画家、サッカー選手、医師、看護師、先生、コック、科学者など)役割(掃除当番をきちんとする、係の仕事をはりきってやる)健康(体力がある、食生活が良好、規則正しい生活)
	(B) 気になるところ (援助が必要なところ)	成績の状況や学習の様子(急に成績が落ちた、国語の授業で集中できない、午前中の授業で落ち着きがない、午後の授業で寝ている、宿題が完成しない)苦手な科目など(漢字の書き取り、計算、文章題)学習意欲(学習に無気力、学習意欲の低下)	性格の気になるところ(人前で緊張しやすい、ちょっとした失敗をひきずる)気になる行動など(先生の側によく来る、よく約束を忘れる、落ち着きがない、おどおどしている、友人をなぐる)人とのつきあい方(友人が少ない、自分から話しかけられない、仕切りたがる)	目標や希望(将来に希望がもてない様子、何をしたいか決めかねている、親と進路希望が不一致)健康面での心配(体力がない、持病○がある、アレルギーがある、偏食、朝食をとらない、肥満、やせすぎ)こだわりや癖(こだわりがある(例:順番、勝負等)、特定の刺激(例:音、光、匂い等)を怖がる)
	(C) してみたこと (今まで行った かかわりとその結果)	例:本人の希望にそった放課後の補習。だんだん負担になってきた様子。	例:担任による家庭訪問。少しずつ話ができるようになってきた。	例:担任による進路情報の提示。まだあまり関心を示さない
援助方針	(D) この時点での 目標と援助方針	例:個別学習の援助、 例:心理面のケア 例:チームを組んで本人とかかかわると同時に、担任をサポートする		
援助案	(E) これからの援助 (何を誰がいつ行うか)	例:放課後の補習は交互に数学のパズルゲーム等取り入れて本人が意欲的に取り組めるように工夫する。(数学科・担任) 例:宿題の補助。短時間でできる分量を出す。(各教科)	例:自己肯定感を高める(些細なことも褒めていいところを伸ばす)(各教科・担任・保護者) 例:気持ちの言語化(「いや」が言えるようにする)(担任・保護者・養護教諭・スクールカウンセラー・他の教科)	例:本人の趣味の世界(鉄道)につきあう(担任・保護者・スクールカウンセラー) 例:生活のリズムを戻す(夜の就寝時刻、朝の起床時刻を決める) 例:朝食をとるようにする。(食欲がないときは牛乳を飲む、バナナを食べるなどできる所から)